



海の道むなかた館年報Ⅲ

平成 26 年度の報告

～郷土文化学習交流館年報～



2015

宗像市教育委員会

常設展示室展示状況



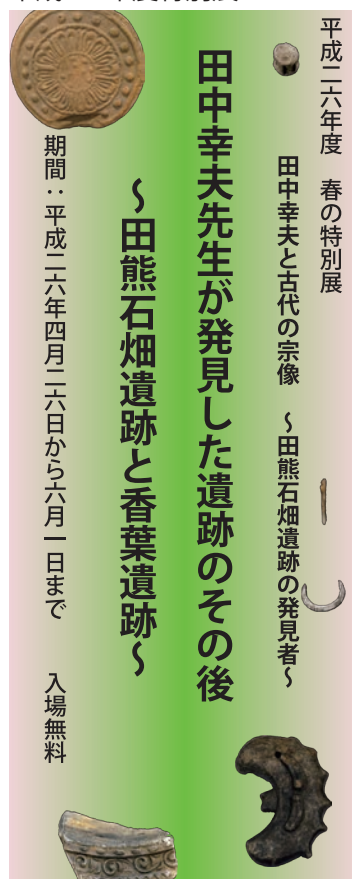
常設展示室：円形に配置された常設展示ブースは市内出土遺物などを時代順に展示し、宗像の歴史を解説している。中央の企画展示ブースは通常時、国登録有形文化財である「玄界灘の漁撈具及び船大工道具」を中心に展示を行っている。特別展開催時には、企画展示ブースも使用し展示を行う。

特別展示室ウォールケース展示状況



特別展示室：通常時の特別展示室は、「沖ノ島祭祀前夜」をテーマとして、市内にある国指定史跡田熊石畑遺跡から出土した国指定重要文化財である武器形青銅器 15 本を中心に展示を行っている。展示ケースはエアタイトになっており、常時温湿度管理を行っている。

平成 26 年度特別展



「田中幸夫と古代の宗像 ～田熊石畑遺跡の発見者～」

会期：平成 26 年 4 月 26 日～同年 6 月 1 日

協力機関：宗像大社、九州歴史資料館、県立宗像高等学校、福津市教育委員会



「ムナカタ国はあったか ～魏志倭人伝の国々からみた宗像～」

会期：平成 26 年 9 月 30 日～同年 11 月 16 日

協力機関：文化庁、独立行政法人東京文化財研究所、九州歴史資料館、糸島市教育委員会、飯塚市教育委員会、筑紫野市教育委員会、福岡市教育委員会ほか

世界遺産ガイダンス機能

ガイダンス施設

本館は、平成 27 年度の世界文化遺産の推薦遺産に決定した「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の宗像市における世界遺産登録推進活動の拠点施設となった。神宿る島「沖ノ島」の神秘的な世界を、大迫力の 3D でリアルに体験できる映像を上映している。



3D シアター

世界遺産啓発イベント

「宗像大社秋季大祭」の前月である 9 月を世界遺産強調月間「オガチマンス」とし、観光客に対し土・日曜日に歴史観光ボランティアによる辺津宮境内の無料ガイドなどを行っている。この中で、宗像大社秋季大祭が行われる 10 月 1～3 日に、海の道むなかた館外壁を利用してプロジェクションマッピングを実施した。



川下り



宝探しイベント（宗像大社辺津宮）



プロジェクションマッピング

体験学習機能

体験学習

「火起こし」・「勾玉づくり」・「土笛づくり」・「古銭鑄造」・「銅鏡づくり」・「馬鈴づくり」などの古代体験のほか、株式会社テムザックやトヨタ自動車九州株式会社の協力により「ロボリア」・「番竜」のロボット操作体験やハイブリットシステムのカットモデルの展示を行っている。

巻頭カラー 3



「勾玉づくり」体験



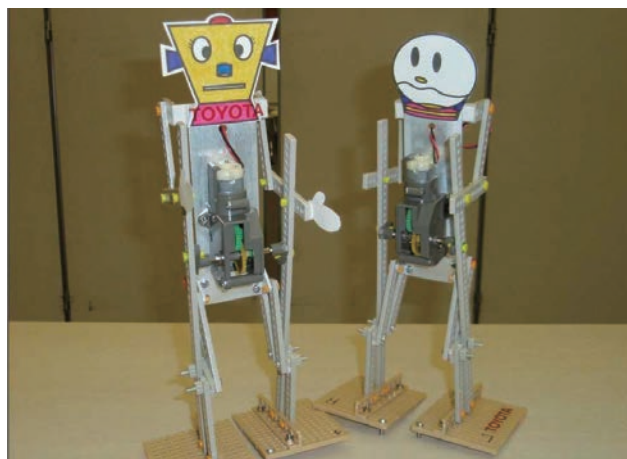
「火起こし」体験



「土笛づくり」体験

夏休み特別体験学習

トヨタ自動車九州モノづくり教室、県立宗像高等学校電気物理部や福岡教育大学と協働し「二足歩行ロボット」、「ドタバット」、「牛乳パックリモコンカー」の電気工作や「絵の具づくり・絵描き教室」を開催。また、宗像市内の発掘調査で見つかった埴輪を題材とした「埴輪貯金箱づくり」を開催した。



「電気工作」体験



「埴輪貯金箱づくり」



「絵の具づくり・絵描き教室」体験



頓宮への入場の様子

交流機能

陸上神幸

宗像大社秋季大祭の海上神幸の後、神湊にある頓宮から神湊郵便局までの区間を、地元の小中学生やコミュニティ運営協議会などが参加し、三柱の女神様の御分霊を乗せた神輿を担いだ。



頓宮祭の様子



る・る・るマーケットの賑わい

にぎわいづくり

海の道むなかた館では、市内はもとより、市外からの来館者を増加させるため、開館2周年記念イベント、夏休みイベント、世界遺産強調月間「オガチマンス」、秋祭り、正月臨時開館イベントなど四季折々にイベントを開催し、にぎわいづくりを行った。



秋祭りの賑わい

はじめに

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、宗像市民はもとより、市外の皆さんからも熱いご期待をいただき、平成 24 年 4 月 28 日に開館し、開館 4 年目の平成 27 年 6 月末現在、42 万人余りの入館者がありました。

宗像市は、海と山と田畑という豊かな資源に恵まれ、原始・古代から現代まで、たゆまぬ歴史を刻んでおり、歴史的な文化遺産は、市内各所に数多く大切に保存されています。

当館では、それら貴重な文化遺産を、まず次世代に守り伝えるべく、調査・研究を行っています。また、その成果を展示や講座を通じて市民の皆さんの関心を高め、かつ楽しんでいただけるように心がけて参りました。

そして、未来をになう子どもたちに、郷土の歴史や文化を楽しみながら学ぶ、勾玉づくりをはじめとした種々の古代体験にも力を入れています。その他にも、先端技術を学ぶロボット工作などの体験も用意して参りました。

このように、博物館としての機能を充実させる一方、宗像市が福津市や福岡県とともに推進し、平成 29 年度世界遺産登録を目指す「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の活動拠点施設として、そのガイダンス機能、とくに沖ノ島の臨場感溢れる映像を提供しています。

さらに、一年間を通して四季折々に、各種イベントを実施し、市内外の皆さんの交流の場としても活用されています。

また、宗像大社は宗像市はもとより、日本の歴史にとって欠くことができない存在であります。当館が宗像大社の北側に隣接しているという地の利からも、一体的な発展を願っています。

開館以来、3 年余りを経過した当館の運営を振り返りますと、市内外の多くの方々に親しまれ、楽しまれたことを実感いたしますとともに、地域学芸員の皆さんの献身的なボランティア活動に頭が下がる思いがいたします。

私たち館員一同は、引き続き一丸となって、つねに新しく、また、理想的な博物館像を模索しながら、市民の皆さんのご期待にそえるよう、さらに努力を積み重ねて参ります。

私たちの活動に対しまして、市内外の皆さんにいつそうのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 27 年 9 月 1 日

海の道むなかた館

館長 西谷 正

目 次

1. 海の道むなかた館の概要

- (1) 建設にいたる経緯・・・・・・・・・・1
- (2) 館の目的（機能）・・・・・・・・・・2
- (3) 館の利用案内・・・・・・・・・・2
- (4) 館の主要施設概要・・・・・・・・・・3

2. 管理運営体制

- (1) 組織・・・・・・・・・・4
- (2) 郷土文化学習交流館協議会委員・・・5
- (3) 平成 25 年度決算・・・・・・・・・・6
- (4) 郷土文化学習交流館建物概要・・・・・・6

3. 展示

- (1) 常設展示・・・・・・・・・・7
- (2) 特別展示・・・・・・・・・・8
- (3) 企画展示・・・・・・・・・・9
- (4) 移動博物館・・・・・・・・・・10
- (5) 3D シアター・・・・・・・・・・11
- (6) パネル展示・・・・・・・・・・12

4. 体験学習

- (1) 古代体験学習・・・・・・・・・・13
- (2) 特別体験学習・・・・・・・・・・14

5. 講座

- (1) 館長講座・・・・・・・・・・15
- (2) 海の道むなかた館
開館二周年記念講演・・・・・・・・・・16
- (3) 正月企画展特別講演・・・・・・・・・・16
- (4) 地域学芸員養成講座（中級）・・・・・・16
- (5) 西谷館長ギャラリートーク・・・・・・17
- (6) その他・・・・・・・・・・17

6. 団体入館

- (1) 旅行会社によるツアー・・・・・・・・・・18
- (2) 世界遺産登録推進活動に伴う講座・・・・19

7. 各種イベント

- (1) 開館二周年記念イベント・・・・・・・・・・20
- (2) ゴールデンウイークイベント・・・・20
- (3) 夏休み特別事業・・・・・・・・・・20
- (4) 宗像大社みあれ祭前夜祭・・・・・・・・20
- (5) 道の駅むなかた
495 まつり参加・・・・・・・・・・20
- (6) 海の道むなかた館秋祭り・・・・・・・・20
- (7) 正月イベント・・・・・・・・・・20
- (8) ミュージウムコンサート・・・・・・・・21

8. 利用状況

- (1) 月別入館者数・・・・・・・・・・23
- (2) 学校団体入館者数・・・・・・・・・・23

9. その他施設との連携

- (1) 県立宗像高校文化祭
咲～ A shower of smiles ～・・・・23
- (2) 南郷コミュニティセンター・・・・23
- (3) 福岡県立少年自然の家「玄海の家」
玄海わくわくフェスタ・・・・・・・・23

10. 参考資料

- (1) 条例・・・・・・・・・・24
- (2) 規則・・・・・・・・・・25
- (3) 館内案内図・・・・・・・・・・30
- (4) 年間スケジュール・・・・・・・・・・32

1. 海の道むなかた館の概要

(1) 建設から現在にいたる経緯

郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）は、玄海文化センター（アクシス玄海）という多目的な文化施設を改修することで、生まれ変わった施設である。アクシス玄海は、平成4年に開館し、宗像大社に近接し、多くの集客があった。その後、平成8年には、施設の一部を観光物産館として改修し、地産地消をモットーに地元の魚介類、農産物の直売所として、集客を誇った。その後、平成20年「道の駅むなかた」のオープンにより、物産館の機能は移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の整理室として継続されることになった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月31日までは、地元の田島コミュニティ協議会が管理運営に携わっていた。

平成22年7月に宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。

なお、平成25年度は西館の一部改修と館周辺整備を行った。

(沿革)

平成4年5月	玄海文化センター（アクシス玄海）開館
平成20年6月	玄海文化センター（アクシス玄海）劣化調査の着手
10月	玄海文化センター（アクシス玄海）劣化調査の完了
平成21年9月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事設計委託の着手 宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画ワーキング会議の設置 宗像市郷土文化学習交流施設基本計画連携推進委員会の設置
10月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・計画策定業務委託の着手
11月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事設計委託の完了
平成22年1月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事の着工
3月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事の竣工
5月	パブリックコメントの実施
7月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・計画の策定
9月	郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の着手
12月	アクシス玄海トイレ改修工事の着工
平成23年3月	郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の完了 アクシス玄海トイレ改修工事の竣工
6月	地域学芸員養成講座（初級）の開講
7月	郷土文化学習交流施設愛称募集（市民公募）
8月	郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の着工
11月	地域学芸員養成講座（初級）の閉講
12月	宗像市郷土文化学習交流館条例の制定 「海の道むなかた館」に愛称決定
平成24年3月	郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の竣工 「海の道むなかた館」商標原簿に登録
4月	海の道むなかた館の内覧会（4月21日） 海の道むなかた館の開館（4月28日）
平成25年5月	海の道むなかた館西館改修外工事の着工
6月	海の道むなかた館西館改修外工事の竣工
7月	海の道むなかた館周辺整備工事の着工
平成26年3月	海の道むなかた館周辺整備工事の竣工

(2) 館の目的（機能）

「宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画」では、館の理念を三つ掲げる。

- ①歴史文化の継承のための中核施設
- ②市民と協働し、連携する地域還元型の施設
- ③市域の自然や歴史文化を結ぶコア施設

これら三つの館の理念を受け、4つの機能を軸にして、館の運営を行う。

【博物館機能】

「海の道」というテーマのもとに、玄界灘の玄関口として、古代から大陸文化との交流の窓口になった宗像について、歴史の歩みをひもといていく展示構成である。

常設展示施設（旧石器時代から近世まで）、企画展示ブース、特別展示室を通じて、宗像の歴史の歩みをわかりやすく解説する。

【世界遺産ガイダンス機能】

平成21年1月にユネスコ世界遺産の暫定リストに記載された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイダンスを、3Dシアター、3Dモニター、展示などを活用し、解説する。

【体験学習機能】

体験学習室を中心に、古代体験メニュー（火おこし、勾玉づくり、土笛づくり、古銭鑄造など）を揃え、小学生や親子を中心に体験学習を実施する。

【交流機能】

過去・現在・未来をつなぐコンセプトとして、「ものづくり」を提唱。過去のものづくりとして、歴史的な道具の変遷（常設展示等）、現在・未来については、ロボットの進化（株式会社テムザック）やクルマづくり（トヨタ自動車九州株式会社）などを展示解説する。また、喫茶コー

ナーとして、「SHOP 海の道」を営業し、エントランスには休憩スペースを設ける。

なお、歴史文化の中核施設としての位置づけから、宗像遺産のネットワーク化を図り、現在整備中の国史跡田熊石畑遺跡や装飾古墳で有名な桜京古墳をはじめ、宗像大社、鎮国寺との連携を密にした事業を展開する。

さらに、「道の駅むなかた」との連携をはじめ、観光プラットフォームの構築に向け、観光事業との一体的な事業を実施する。

(3) 館の利用案内

○開館時間

午前9時から午後6時まで

（ただし、宗像市教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更することができる。）

○休館日

月曜日

（月曜日が祝日に当たるときは、その翌平日）

12月29日から翌年1月3日まで

（ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更することができる。）

○入館料

無料

（ただし、特別展示等において有料となる場合がある。）

○交通の案内

●車で

九州自動車道若宮インターから約20分
古賀インターから約25分

●公共交通機関で

西鉄バス「東郷駅前」バス停から
宗像大社経由・[1] 神湊波止場行きまたは[1-2] 光陽台六丁目行きバス（約20分）
「宗像大社前」下車
天神方面からは、特急バス「むなかた号」で「宗像大社前」下車

(4) 館の主要施設概要

郷土文化学習交流館		
施設名	面積	摘要
【1階：展示】		
風除室	33 m ²	ホール内への外気の進入を防ぐ
交流係事務室	70 m ²	総合案内、交流係及び世界遺産登録推進室事務室
ホール	397 m ²	S H O P 海の道、世界遺産登録推進活動紹介
ロッカー室	10 m ²	来館者用ロッカー
常設展示室	386 m ²	宗像の歴史展示（通史）、世界遺産関係展示、企画展示
重要文化財展示室	53 m ²	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財を展示
荷解室	25 m ²	収蔵品や借用展示品の梱包や荷解きを行う
前室	14 m ²	収蔵品や借用展示品を展示室の環境に慣らす
重要文化財収蔵庫	25 m ²	重要文化財等の収蔵
3Dシアター	33 m ²	沖ノ島紹介3Dシアター
ボンベ室	8 m ²	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244 m ²	宗像地域の自然、歴史、文化等を活用した体験学習等実施
土器復元室	42 m ²	埋蔵文化財復元作業等を行う
倉庫	25 m ²	体験学習関係（勾玉作り、土笛作り等）道具・材料の収納
トイレ	77 m ²	男女トイレ、多目的トイレ
【1階：図書館・講義室】		
宗像市民図書館	423 m ²	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を充実（深田分館）
第二展示室	110 m ²	企画展示や絵画展示を行う
講義室	134 m ²	文化財講座及び世界遺産推進等に関する講座等の開催
館長室	33 m ²	館長室
文化財係事務室	50 m ²	文化財の照会等の文化財係事務室
清掃員控室	15 m ²	清掃員の控室兼休憩室
埋蔵文化財整理室	100 m ²	文化財整理作業
ボランティア控室	59 m ²	地域学芸員等のボランティア活動スペース
授乳室	3 m ²	図書館横授乳室
トイレ	40 m ²	図書館横トイレ
【2階】		
図書整理室	96 m ²	（深田分館）
図書準備室	69 m ²	（深田分館）
埋蔵文化財関係書庫	69 m ²	酒井文庫、文化財報告書等の収蔵
郷土資料関係倉庫	31 m ²	市史編纂関係資料等の収蔵
【地階：収蔵庫】		
収蔵庫	367 m ²	文化財調査出土品等の収蔵
収蔵庫	41 m ²	文化財調査出土品等の収蔵
機械室	25 m ²	ホール用空調設備機器設置
倉庫	10 m ²	文化財関係書類等保管
収蔵庫	17 m ²	文化財調査出土品等の収蔵

（平成27年3月末現在）

2. 管理運営体制

(1) 組織

1. 平成 26 年度 館の機構 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

館長 西谷 正

市民協働・環境部 郷土文化交流課

課長 清水 比呂之

交流係 (博物館業務)

係長 廣渡 恵三

企画主査 三好 典嗣

主査 判田 博明

技師 石山 勲

技師 坂本 雄介

非常勤任用職員 鎌田 徳隆

文化財係 (文化財業務)

係長 白木 英敏

主任技師 山田 広幸

技師 佐藤 正義

技師 田子森 千子

技師 馬場 晶平

再任用 原 俊一

(新修宗像市史編纂業務)

局長 (市史編纂担当) 灘谷 辰生

係長 (市史編纂担当) 安部 裕久

「世界遺産登録推進業務」

経営企画部 経営企画課 世界遺産登録推進室

室長 岩佐 芳弘

係長 山口 哲司

主任技師 岡 崇

主任主事 加地 俊博

2. 地域学芸員

地域学芸員は、平成 23・25 年度に実施した地域学芸員養成講座 (初級) の修了者を対象に、

1. 館の展示解説

2. 体験学習指導

3. 歴史観光ツアー

4. 地域資源調査

などを担ってもらっている。

現在、地域学芸員は 75 人 (平成 26 年度)。年間で延べ 2,487 人が活動した。市民ボランティアとして、一回の活動に対し 1,000 円の特別旅費を支払っている。

平成 26 年度 地域学芸員養成講座 (中級) の実施 (9 講座)

期間：平成 26 年 11 月 24 日～27 年 3 月 25 日

内容：文化財保護、世界遺産、地元学の演習

受講者：28 人が受講し、修了者は 27 人

※既に中級講座を修了した地域学芸員も参加した。

(2) 郷土文化学習交流館協議会委員

宗像市郷土文化学習交流館条例にもとづき、教育関係者、学識経験者、市民代表等で構成された委員が、館の運営に関し、必要な事項を審議する機関である。

1. 第1回 宗像市郷土文化学習交流館協議会

期日：平成26年8月28日

会場：海の道むなかた館

報告：

(1) 平成25年度第2回宗像市郷土文化学習交流館協議会議事録について

(2) 平成26年度宗像市郷土文化学習交流館事業について

(3) 平成26年度郷土文化交流課（文化財係）事業について

議事：平成25年度宗像市郷土文化学習交流館事業報告（年報）について

2. 第2回 宗像市郷土文化学習交流館協議会

期日：平成27年3月25日

会場：海の道むなかた館

報告：

(1) 平成26年度宗像市郷土文化学習交流館事業について

(2) 平成26年度郷土文化交流課事業について

議事：平成27年度宗像市郷土文化学習交流館事業計画（案）について

郷土文化学習交流館協議会委員名簿

任期：平成24年9月1日から平成26年8月31日

区 分	氏 名	役 職 等
1 学校教育及び社会教育の関係者	菊川 律子	九州大学理事
	藤 周作	玄海小学校主幹教諭（任期：H26.4.1～）
3 家庭教育の向上に資する活動を行う者	牟田 貴美子	自由ヶ丘コミュニティ運営協議会青少年育成部会会長
5 学識経験者	亀井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
	河窪 奈津子	宗像大社神宝館学芸員
	藤本 幸男	東海大学福岡短期大学教授
7 市民代表	花田 純一	玄海地区コミュニティ運営協議会会長 （任期：H25.10.1～）
	園元 かをり	市民ボランティア（地域学芸員）

任期：平成26年10月1日から平成28年9月30日（平成27年1月1日現在）

区 分	氏 名	役 職 等
1 学校教育及び社会教育の関係者	樋田 京子	太宰府市教育委員会教育委員長
	藤 周作	玄海小学校主幹教諭
3 家庭教育の向上に資する活動を行う者	牟田 貴美子	自由ヶ丘コミュニティ運営協議会青少年育成部会会長
5 学識経験者	亀井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
	河窪 奈津子	宗像大社神宝館学芸員
	藤本 幸男	東海大学福岡短期大学教授
7 市民代表	花田 純一	玄海地区コミュニティ運営協議会会長
	園元 かをり	市民ボランティア（地域学芸員）

(3) 平成 26 年度決算（案）

海の道むなかた館予算（円）	展示活用事業費	管理運営費
総額	29,708,260	30,324,620
報酬	0	5,494,858
共済費	0	302,093
報償費	198,000	0
賃金	0	1,715,726
旅費	2,979,490	30,000
需用費	4,214,785	10,473,218
役務費	370,028	660,408
委託料	21,792,422	10,780,286
使用料及び賃借料	52,275	751,931
備品購入費	91,260	116,100
負担金・補助及び交付金	10,000	0

(4) 郷土文化学習交流館建物概要

- 所在地 福岡県宗像市深田 588
- 階数構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造 地上 3 階 地下 1 階
- 敷地面積 11,082.02㎡
- 用途地域 準都市計画区域内（平成 24 年 4 月 1 日現在）
- 既存建物床面積 3,973.26㎡
- 既存建物建築面積 2,934.38㎡
- 既存建物竣工年 平成 4 年 3 月 31 日
- 現建物床面積 3,901.42㎡
- 現建築面積 2,978.85㎡

3. 展示

(1) 常設展示

航海技術に優れ、活躍した宗像の人々。この宗像の人々が活躍した玄界灘の交易に着目し、「海の道」をテーマに宗像市における旧石器時代から現代までの通史を紹介する。

○展示物

【ヒトの来た道】

対象時代：旧石器～縄文時代

旧石器時代：池浦トボシ遺跡出土ナイフ形石器、田野瀬戸遺跡出土旧石器など

縄文時代：さつき松原出土曽畑式土器、鐘崎（上八）貝塚出土鐘崎式土器など



【稲作文化が渡った道】

対象時代：弥生時代

東郷登り立遺跡出土弥生土器、須恵クヒノ浦遺跡出土炭化米、光岡長尾遺跡出土石包丁をはじめ市内遺跡出土の磨製石斧など



【最先端技術が渡った道】

対象時代：古墳時代

三郎丸堂ノ上C遺跡未焼成須恵器、須恵須賀浦遺跡須恵器、久原瀧ヶ下遺跡出土板状鉄斧、朝町山ノ口遺跡出土鉄鉗・金槌など



【半島・大陸との交流の道】

対象時代：古墳時代

大井三倉遺跡出土蛇行状鉄器、田野瀬戸古墳出土土杏葉、浦谷古墳出土土杏葉、平等寺瀬戸古墳出土馬鈴、相原古墳出土新羅土器など



【拡大する海外交流の道】

対象時代：古代～中世

武丸大上げ遺跡出土鬼瓦、久原遺跡出土陶磁器など



【街道と海女の道】

対象時代：江戸～現代

江戸時代：黒田二十四騎久野家隊列図（市指定文化財）

現代：海女道具一式（県指定文化財）など

○刊行物

海の道むなかつ館展示図録（A4版 総頁16 オールカラー）

(2) 特別展示

ア. 春の特別展「田中幸夫と古代の宗像

～田熊石畑遺跡の発見者～」

○内容

昭和初期に全国に先駆けてつくられた「宗像郷土館」の建設に尽力した宗像女学校の田中幸夫の功績から、宗像市における文化財の調査研究と保護の歴史を紐解き、文化財保護の在り方について改めて考える。

○期間

平成26年4月26日～同年6月1日

○展示物

『胸形』・『宗像の旅』及びその原稿、田中幸夫が発見した遺跡の遺物など

○刊行物

『田中幸夫と古代の宗像 ～田熊石畑遺跡の発見者～』

（特別展示図録 A4版 総頁21 オールカラー）

イ. 秋の特別展「ムナカタ国はあったか

～魏志倭人伝の国々からみた宗像～」

○内容

田熊石畑遺跡の墓域が提起する宗像地域の首長と社会に焦点を当て、その前後の社会状況の分析から、魏志倭人伝の時代における「ムナカタ国」の可能性を探る。

○期間

平成26年9月30日～同年11月16日

○展示物

平原遺跡出土内行花文鏡（国宝）、田熊石畑遺跡墓域出土品、立岩堀田遺跡出土銅矛・銅鏡、隈・西小田遺跡出土銅剣（重要文化財）、新町遺跡出土半両銭・貸泉（福岡県指定文化財）、牟田寄遺跡出土ト骨（佐賀県指定文化財）ほか

○刊行物

『ムナカタ国はあったか ～魏志倭人伝の国々からみた宗像～』

（特別展示図録 A4版 総頁56 オールカラー）



※平成27年3月24日から平成27年度春の特別展「日本人にかえれ 出光佐三展」を開催。

(3) 企画展示

ア.「福永晴帆日本画展」

○内容

歴史に埋もれつつある日本画家を再評価し、劣化しつつある作品を守って行くには大学、文化財の所有者、それらを取り巻く人々や公的機関の協力が必要で、この展示をきっかけとし、地域の文化財に関心を持ち、守り伝えようとする人々を育てる。

○期間

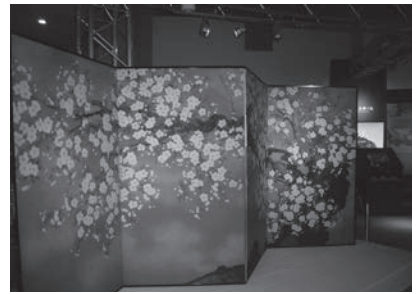
平成 26 年 6 月 3 日～平成 26 年 6 月 29 日

○展示場所

企画展示ブース

○展示物

宗像大社辺津宮儀式殿の襖絵及び腰障子を最新デジタル技術を駆使して、屏風として仕立てた再現文化財（レプリカ）、福永晴帆直筆掛け軸、日本画の道具など



イ.「ムナカタの化石 ～4,800 万年前のタイムカプセル～」展

○内容

宗像市吉留で見つかった日本最古のサイ上科「ヒラキウス」を紹介するとともに、同時期の近隣で確認された生物の化石を展示し、来館者に宗像にも貴重な化石が発見されていることを周知する。

○期間

平成 26 年 12 月 16 日～平成 27 年 2 月 1 日

○展示場所

企画展示ブース

○展示物

ヒラキウス、コリフォドン、アミノドン、トロゴサズ、プロトプレテルム、骨質歯鳥、芦屋層群産出貝類、津屋崎層群産出植物化石ほか

○刊行物

解説リーフレット（A3 二つ折り 両面カラー）



ウ.「むなカタ模型作品展示会」

○内容

住民・NPO・企業・行政の各主体が協力し、それぞれの立場を生かした役割分担を行いながら実施した事業である。出品作品には入場者による人気投票を行い、上位の出品者には協賛品より賞品を授与する。

○期間

平成 27 年 3 月 21 日～平成 27 年 3 月 22 日



○展示場所
体験学習室

○展示物

神社・仏閣・城郭・情景模型、自動車・バイク模型、ロボット（キャラクター）模型、スケール模型、中学生以下が作成した作品、沖西牛男氏によるアワビの貝殻による作品ほか



(4) 移動博物館

平成 26 年度から館への来館を待つだけでなく、人の集まる場所へ出張展示を行った。



ア. 吉武地区コミュニティセンター

○内容

宗像市吉留で見つかった日本最古のサイ上科「ヒラキウス」を紹介。

○期間：平成 27 年 2 月 3 日～同年 2 月 15 日

○展示場所：吉武地区コミュニティセンターロビー

○展示物：ヒラキウス下顎骨、踵骨



イ. 東部観光拠点施設「赤馬館」

○内容

宗像市吉留で見つかった日本最古のサイ上科「ヒラキウス」を紹介。

○期間：平成 27 年 2 月 17 日～同年 3 月 18 日

○展示場所：赤馬館展示コーナー

○展示物：ヒラキウス下顎骨、踵骨

ウ. 赤間小学校

○内容

宗像市吉留で見つかった日本最古のサイ上科「ヒラキウス」を紹介。

○期間：平成 27 年 3 月 19 日

○展示場所：空き教室

○展示物：ヒラキウス下顎骨、踵骨

(5) 3D シアター

世界遺産登録構成資産候補の中で主となる沖ノ島は、通常、上陸できないため、3D映像で島の情景を実感し、価値を伝える。

○聖なる島沖ノ島 ―大陸と日本をつなぐ生命線―

上映時間：18分

約500年にもおよぶ国家的祭祀、祭祀を担った宗像氏、神に捧げられた約8万点もの宝物、宗像三女神の誕生、今も息づく宗像大社の信仰など、世界的な資産価値を有する「宗像・沖ノ島と関連遺産群」をわかりやすく解説する。



○宗像大社の神事 ―人々の信仰と祈り―

上映時間：13分

沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神の神輿を載せた2隻の御座船と宗像七浦の船団により繰り広げられる「みあれ祭」をはじめ、古代の信仰を今に引き継ぐ宗像大社のさまざまな神事を紹介する。



○沖ノ島の自然 ―太古の姿をそのままに―

上映時間：8分

沖ノ島全島は、1926年（大正15年）に国の天然記念物に指定された。現在も禁忌によって人の往来が制限されているこの島では、絶滅が危惧されている植物が繁殖し、市の鳥でもあるオオミズナギドリの一夫繁殖地となっていることなどを紹介する。



○アニメ「海の民 宗像」

古代、高い航海技術を持っていた宗像の民が、対外交渉の水先案内人としてヤマト王権と関わりを深めていった歴史をアニメーションで紹介する（フィクション）。

第1話―玄界灘の守り神―（上映時間9分）

第2話―海人の都 ムナカタ―（上映時間7分）

第3話―ムナカタとヤマトをつないだ海人―（上映時間13分）

第4話―玄界灘の軍神―（上映時間10分）

第5話―海の民ムナカタ―（上映時間11分）



○おはなし会 「はるかな島のものがたり」

毎月第3土曜日午後15時15分から3Dシアターにおいて読み聞かせを行っている。

平成26年度3Dシアター入場者数一覧表

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9時	150	100	101	31	17	68	65	78	51	21	48	83	813
10時	208	220	153	52	90	84	246	96	170	141	81	153	1,694
11時	275	254	123	161	336	84	218	303	139	446	183	128	2,650
12時	124	162	118	55	235	132	209	300	106	293	233	120	2,087
13時	345	202	120	206	190	182	352	419	137	367	203	256	2,979
14時	214	193	120	219	290	334	316	312	133	238	110	144	2,623
15時	179	190	70	201	243	259	302	205	130	244	95	292	2,410
16時	69	153	75	59	159	70	124	179	59	189	109	90	1,335
17時	21	44	2	40	12	18	28	61	19	38	18	27	328
合計	1,585	1,518	882	1,024	1,572	1,231	1,860	1,953	944	1,977	1,080	1,293	16,919

(6) パネル展示

ア. 山笠絵画展

○期間

平成 26 年 7 月 17 日～7 月 21 日

○展示場所

ホール

○展示内容

東郷小学校児童が作成した山笠の絵の展示を行った。

イ. 「北斗の水汲み」写真展

○期間

平成 26 年 12 月 16 日～平成 27 年 1 月 25 日

○展示場所

渡廊下

○展示内容

水平線上に沈む北斗七星が柄杓で水を汲むような様子に見える、世界的にも珍しい天体現象である「北斗の水汲み」の写真を公募し、入選作品を展示した。

ウ. 福岡県小学児童画展宗像地区入選作品展示

○期間

平成 27 年 1 月 10 日～1 月 18 日

○展示場所

体験学習室

○展示内容

福岡県小学児童画展宗像地区入選作品を展示した。

エ. 宗像市・レッジョエミリア市（イタリア）交流児童画展

○期間

平成 27 年 1 月 20 日～2 月 1 日

○展示場所

体験学習室

○展示内容

市内小学校との交流事業の一環として、両国の児童が描いた絵を展示した。

4. 体験学習

毎週末および祝日、イベント等で実施。

(1) 古代体験学習

○内容

ア. まが玉づくり / 選べるまが玉づくり (材料費：100 ～ 300 円)

まが玉の素材として沖ノ島祭祀遺跡等でも出土している滑石を使用し、紙やすりで研磨を行い製作する。イベント時にはピンク、黒、特大の石を準備した。

イ. 火おこし (材料費：100 円)

舞hiri、火きり白、モグサ、麻の繊維を使用し、舞hiri式の火おこし体験を行う。

ウ. 土笛づくり・土器づくり (材料費：100 円)

光岡長尾遺跡出土の土笛をモデルにオープン陶土を使用し、土笛を製作する。

上八 (鐘崎) 貝塚出土の鐘崎式土器をモデルにオープン陶土を使用し、土器を製作する。

エ. 古銭鑄造 (材料費：100 円 枝銭：1,200 円)

三郎丸今井城出土の皇朝銭から型を作成し、低熔解金属を使用し、古銭鑄造を体験する。

オ. 馬鈴づくり (材料費：500 円)

平等寺瀬戸 1 号墳出土品から型を作成した。イベント時に限り実施。

カ. 銅鏡づくり (材料費：500 (小)、1,000 円 (大))

久原遺跡出土品から型を作成した。イベント時に限り実施。

○実績 体験学習参加者：1,974 人

○体験学習参加者月別詳細

(人)

	まが玉づくり		火おこし		土笛づくり		古銭鑄造		枝銭づくり		馬鈴づくり		銅鏡づくり	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料
4 月	50	40	3		31	19	24	13						
5 月	221	194	124	64	5		19	8						
6 月	113	96	9		3		7							
7 月	132	23			36		12							
8 月	383		4		28		41				7			
9 月	92				5		18							
10 月	42						7							
11 月	253		7		15		15		4		9		15	
12 月	4		7		6		0							
1 月	54		1		5		11							
2 月	18		9		28		17							
3 月	50		3		0		19						12	
合計	1,412		167		162		190		4		16		27	

(2) 特別体験学習

○内容

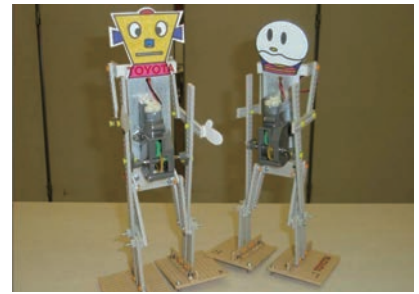
ア. トヨタ自動車九州モノづくり教室「二足歩行ロボット」

平成 26 年 7 月 19 日

参加費：無料

トヨタ自動車九州モノづくり教室と協働で開催した。本年度は、「二足歩行ロボット」を作って、その仕組みや原理を学んだ。

参加者：76 人



イ. 「埴輪貯金箱づくり」 平成 26 年 7 月 27 日

材料費：500 円

宗像にある古墳からも見つかった「埴輪」。大昔の人は、どんなことを思って埴輪を作っていたかを考え、埴輪の作り方についても学んだ。

参加者：30 人

ウ. 絵の具づくり・絵描き教室 平成 26 年 8 月 9・10 日

材料費：300 円

福岡教育大学と協働で開催した。自然の石や土、貝を材料にして絵の具をつくり、ポストカードやうちわに絵を描く。

参加者：54 人



エ. ロボット工作 平成 26 年 8 月 17・24 日

材料費：2,000/1,200 円

宗像高等学校電気物理部部員と協働で開催した。ユニークな動きのロボット「ドタバット」と牛乳パックを使ってリモコンカーを組立てる「牛乳パックリモコンカー」を組立てた。

「ドタバット」参加者：26 人

「牛乳パックリモコンカー」参加者：26 人

オ. 博物館クイズ「むなかた館の達人」 夏休み期間中

参加費：無料

館内を巡り、展示物や展示パネルから答えを見つけ回答するクイズラリーを実施した。

参加者：1,028 人

カ. 正月イベント連動「コマ絵付け体験」 平成 27 年 1 月 1～4 日

材料費：300 円

正月の体験学習として、木芯の紐かけゴマに絵付けをして専用ブースでコマ回しを行った。

参加者：51 人



キ. 正月企画展連動「化石発見体験」

平成 26 年 12 月 16 日～平成 27 年 2 月 1 日

参加費：200 円

正月企画展と連動し、原石を金槌などで叩き、化石を発見する体験を行った。

参加者：286 人

ク. むなかた模型作品展会連動体験学習

平成 27 年 3 月 21・22 日

むなかた模型作品展会と連動して、トヨタ自動車九州モノづくり教室、あそびの達人教室、山梨ワイン振興会と協働で「風船自動車」・「ホバークラフト」、「ペットボトルピザ教室」、「親子模型教室組立体験」を行った。

- ・「風船自動車」 参加費：無料 参加者：52 人
- ・「ホバークラフト」 参加費：無料 参加者：22 人
- ・「ペットボトルピザ教室」 材料費：500 円 参加者：16 人
- ・「親子模型教室組立体験」 参加費：無料 参加者：19 人



5. 講座

(1) 館長講座

海の道むなかた館において、西谷正館長による講座を毎月1回開催した。古代の朝鮮半島の歴史について、時代ごとにテーマを設けて、日本との比較を交えながら最新の考古学的成果をふまえ、解りやすく解説した。

- テー マ：古代の朝鮮半島
- 回 数：12 回
- 会 場：海の道むなかた館 講義室・体験学習室
- 時 間：13 時 30 分から 2 時間程度
- 受 講 料：無料
- 定 員：各回 80 名
- 受講者数：計 806 名（延べ）



回 数	日 付	内 容
第 1 回	平成 26 年 4 月 13 日（日）	歴史のあけぼの ―旧石器時代―
第 2 回	平成 26 年 5 月 11 日（日）	櫛目文土器文化の成立と展開 ―新石器時代―
第 3 回	平成 26 年 6 月 8 日（日）	青銅器の登場と農業社会 ―青銅器時代―
第 4 回	平成 26 年 7 月 13 日（日）	鉄器の普及と国家形成への動き ―原三国時代―
第 5 回	平成 26 年 8 月 10 日（日）	桓仁の遺跡群 ―三国時代高句麗前期―
第 6 回	平成 26 年 9 月 14 日（日）	集安の遺跡群 ―高句麗中期―
第 7 回	平成 26 年 10 月 12 日（日）	ピョンヤンの遺跡群 ―高句麗後期―
第 8 回	平成 26 年 11 月 9 日（日）	高句麗の壁画古墳
第 9 回	平成 26 年 12 月 14 日（日）	ソウルの遺跡群 ―百濟前期―
第 10 回	平成 27 年 1 月 11 日（日）	公州の遺跡群 ―百濟中期―
第 11 回	平成 27 年 2 月 8 日（日）	扶余の遺跡群 ―百濟後期―
第 12 回	平成 27 年 3 月 8 日（日）	百濟の前方後円墳

(2) 海の道むなかた館 開館二周年記念講演

春の特別展「田中幸夫と古代の宗像 ～田熊石畑遺跡の発見者～」に合わせ講演を行った。

平成 26 年 4 月 26 日（土） 受講者：53 名

演題：「文献史料から見た古代の筑紫」 講師：田中正日子（元福岡第一経済大学教授）

平成 26 年 4 月 29 日（火・祝） 受講者：56 名

演題：「海洋王国・金官加耶」 講師：西谷正館長

(3) 正月企画展特別講演

正月企画展「ムナカタの化石 ～4,800 万年前のタイムカプセル～」に合わせて講演を行った。

平成 27 年 1 月 25 日（日） 受講者：80 名

演題：「宗像の石炭時代の絶滅古代獣」 講師：宮田和周（福井県立恐竜博物館主任研究員）

(4) 地域学芸員養成講座（中級）

平成 25 年度地域学芸員養成講座（初級）修了者（2 期を対象）を対象に行った。

○回 数：9 回

○受 講 料：無料

○申 込：28 名（修了者 27 名）

○受講者数：338 名（延べ）

○カリキュラム

回 数	日 時	参加者		内 容	講 師
		2 期	1 期		
第 1 回	平成 26 年 11 月 24 日（月） 10：00～12：00	28	2	○開講式 ・「博物館と時代区分」	海の道むなかた館 西谷 正 館長
第 2 回	平成 26 年 12 月 8 日（月） 13：30～15：30	27	26	・化石（古脊椎動物） （正月企画展事前研修）	北九州市立自然史・歴史博物館 大橋 智之 学芸員
第 3 回	平成 27 年 1 月 15 日（木） 13：30～15：30	28	20	・古墳時代の基礎知識	海の道むなかた館 石山 勲 学芸員
第 4 回	平成 27 年 1 月 29 日（木） 10：00～12：00	27	14	・戦国期の宗像	宗像市文化財保護審議会委員 桑田 和明 氏
第 5 回	平成 27 年 2 月 10 日（火） 13：30～15：30	23	12	・宗像神社のまつり	太宰府発見塾 森 弘子 塾長
第 6 回	平成 27 年 2 月 20 日（金） 13：30～15：30	25	15	・近世の宗像	九州大学 福田 千鶴 教授
第 7 回	平成 27 年 3 月 7 日（土） 9：00～17：00	24	0	・地域資源調査（地元学）	環境地域づくり研究所 前田 秀敏 氏
第 8 回	平成 27 年 3 月 15 日（日） 9：00～17：00	23	8	・地域資源調査（地元学）	環境地域づくり研究所 前田 秀敏 氏
第 9 回	平成 27 年 3 月 25 日（水） 10：00～12：00	25	11	・「朝鮮通信使と北部九州」 ○閉講式	海の道むなかた館 西谷 正 館長

(5) 西谷館長ギャラリートーク

(平成 27 年 1 月 1 日～1 月 3 日)

正月イベントにあわせて、西谷正館長による展示解説と質疑応答形式によるギャラリートークを行った。

1 月 1 日 14:00～14:40
「卑弥呼の宮殿」

1 月 2 日 14:00～14:40
「卑弥呼の墓」

1 月 3 日 14:00～14:40
「卑弥呼の鏡」

(6) その他

いせきんぐ宗像シンポジウム 2014

邪馬台国とムナカタ国 —「ムナカタ国はあったか」—

平成 26 年 9 月 7 日 (日) 13:00～16:30

宗像ユリックスハーモニーホール

特別講演:「邪馬台国を再考する」

石川日出志 (明治大学文学部教授)

基調講演:「青銅器を帯びた宗像の弥生人」

吉田広 (愛媛大学ミュージアム准教授)

「邪馬台国九州説とムナカタ国」

高島忠平 (旭学園理事長)

シンポジウム (討論)

パネリスト:高島忠平、吉田広、西谷正

コーディネーター:板橋旺爾 (西南学院大学非常勤講師)



6. 団体入館

(1) 旅行会社によるツアー

延人数：2,420 人

No	来館日	旅行社名 / ツアー名称	人数
1	4月26日(金)	九州産交ナイスデイツアー「むなかた花寺めぐり宗像大社」	31
2	4月27日(土)	九州産交ナイスデイツアー「むなかた花寺めぐり宗像大社」	25
3	5月4日(日)	九州産交ナイスデイツアー「むなかた花寺めぐり宗像大社」	21
4	5月21日(水)	ユニバーサル旅行「タカオコスモスクラブ」	20
5	5月21日(水)	島原観光(株)「島原市立第五小学校修学旅行」	55
6	6月27日(金)	西鉄旅行「大野城市商工会 役員研修」	19
7	8月14日(木)	朝日旅行大阪	12
8	9月14日(日)	読売旅行佐賀A班「ブルガリアフェスティバル2014」	74
9	9月14日(日)	読売旅行長崎A班「ブルガリアフェスティバル2014」	42
10	9月14日(日)	読売旅行福岡C班「ブルガリアフェスティバル2014」	17
11	9月14日(日)	読売旅行鹿児島B班「ブルガリアフェスティバル2014」	39
12	9月14日(日)	読売旅行宮崎B班「ブルガリアフェスティバル2014」	31
13	9月30日(火)	朝日旅行「伝統神事みあれ祭と「宗像・沖ノ島と関連遺産群」を訪ねる」	23
14	9月30日(火)	第一観光「みあれ祭前夜祭花火大会と宗像・沖ノ島関連遺跡群」	44
15	9月30日(火)	クラブツーリズム「みあれ祭と志賀島」	13
16	10月1日(水)	クラブツーリズム「みあれ祭と志賀島」	13
17	10月1日(水)	第一観光「宗像秋季大祭 みあれ祭とさつき松原ウォーキング」	376
18	10月1日(水)	読売旅行久留米「宗像みあれ祭2014日帰りツアー」	44
19	11月2日(日)	クラブツーリズム「「唐津くんち」と「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」3日間	27
20	11月3日(月・祝)	クラブツーリズム「「唐津くんち」と「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」3日間	50
21	11月16日(日)	第一観光「芦屋基地航空祭2014」	350
22	12月6日(土)	読売旅行「こだわり！玄海天然印御前と道の駅むなかたと伊都菜彩」	25
23	12月7日(日)	西肥バス旅行社「西肥バスワンデイツアー」	22
24	12月17日(水)	西肥バス旅行社「西肥バスワンデイツアー」	30
25	1月18日(日)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	82
26	1月21日(水)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	42
27	1月22日(木)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	78
28	1月23日(金)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	39
29	1月29日(木)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	41
30	1月30日(金)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	42
31	1月31日(土)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	82

32	2月4日(水)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	42
33	2月7日(土)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	41
34	2月7日(土)	第一観光「天然ふぐのミステリーツアー」	30
35	2月8日(日)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	43
36	2月11日(水・祝)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	37
37	2月11日(水・祝)	第一観光「天然ふぐのミステリーツアー」	60
38	2月14日(土)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	43
39	2月17日(火)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	83
40	2月18日(水)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	42
41	2月19日(木)	阪急交通社「2015年福岡新春3社初詣日帰り」	83
42	2月22日(日)	第一観光「天然ふぐのミステリーツアー」	29
43	3月10日(火)	読売旅行「北九州ごちそうの旅 焼物の街伊万里・歴史の街唐津水郷・水郷の街柳川3日間」	78
合計			2,420

(2) 世界遺産登録推進活動に伴う講座

○回数 年間4回 ○参加者 116人

※海の道むなかた館で行われたもののみ

No.	日付	内容	人数
1	6月6日(金)	土穴老人クラブ福寿会バス見学講座	22
2	6月7日(土)	宗像歴史観光ボランティア世界遺産講座	25
3	6月9日(月)	日の里4丁目老人会バス見学講座	12
	10日(火)		
4	10月23日(木)	福岡県市議会議長会事務局職員研修会	57
合計			116

7. 各種イベント

- (1) 開館二周年記念事業（平成 26 年 4 月 26 日～4 月 27 日）
開館二周年と来館者 20 万人突破記念として感謝イベントを開催。通常は有料である「まが玉づくり」、「土笛づくり」、「古銭鑄造体験」を無料とし、郷土料理「だぶ」の振舞いを行った。その他、春の特別展の記念講演を開催、館前駐車場においてる・る・るマーケットを開催した。また、宗像歴史観光ボランティアと協働で、宗像大社の無料ガイドツアーを実施した。
(入館者数：2,847 人)
- (2) ゴールデンウィークイベント（平成 26 年 5 月 3 日～6 日）
ゴールデンウィーク後半の連休中に火おこしコンテストを開催。館内では、クイズラリーを開催した。
(入館者数：2,838 人)
- (3) 夏休み特別事業（夏休み期間中）
本館クイズラリー、トヨタ自動車九州モノづくり教室、ロボット工作講座などを行った。
(P14 参照)
- (4) 宗像大社秋季大祭陸上神幸祭（平成 26 年 10 月 1 日）
海上神幸の後、地元の小中学生やコミュニティ、宗像大社氏子青年会、宗像市青年会議所などの人が、稚児や巫女、奉行などの衣装を身に着け頓宮から神湊郵便局まで、宗像三神の御霊を乗せた神輿を担いだ。
- (5) 道の駅むなかた 495 まつり参加（平成 26 年 10 月 5 日～10 月 6 日）
宗像歴史観光ボランティアの会との協働で、宗像歴史観光ウォーキングツアー（道の駅むなかた→海の道むなかた館→宗像大社神宝館→道の駅むなかた）を行った。
(参加者：14 人)
- (6) 海の道むなかた館秋祭り（平成 26 年 11 月 1 日～11 月 3 日）
鑄造体験スペシャルとして、銅鏡づくり、馬鈴づくり、枝銭づくり、古銭鑄造体験を行った。また、玄関前では、むなっ猪を使った料理の振舞いや、日替わりフードコートを開設した。
(入館者数：3,182 人)
- (7) 正月イベント（平成 27 年 1 月 1 日～同年 1 月 3 日）
正月の遊び体験（コマ絵付けなど）、獅子舞などを行った。また、玄関前では、フードコートを開設した。
(入館者数：5,167 人)

(8) ミュージアムコンサート

館への集客と文化振興のため、2ヶ月に1回、宗像にゆかりのあるアーティストや団体等を招きコンサートを開催した。

Vol.11 ～新緑に誘われて～ Sono

(平成 26 年 5 月 16 日)

出演者：木下昌子（マリンバ）、奥村真衣（ピアノ）

末松崇宏（パーカッション）

参加者：約 50 人



Vol.12 ～ドラマティックボイス～ 心に響く語りの世界

(平成 26 年 7 月 18 日)

出演者：岩城朋子（舞台役者）

参加者：約 70 人



Vol.13 ～フレッシュハーモニー～ 男声アンサンブル

MEN ボウズ

(平成 26 年 9 月 19 日)

出演者：MEN ボウズ、岡垣ミュージクスアンサンブル

参加者：約 60 人



Vol.14 ～晩秋のララバイ～ Jazz in 宗像
(平成 26 年 11 月 21 日)
出演者：和田いづみ（ボーカル）、石川雄一（ギター）
参加者：約 110 人



Vol.15 ～新春恒例和の調べ～ 尺八と箏の演奏会
(平成 27 年 1 月 16 日)
出演者：矢野径山（尺八）、角南芙美子（箏）
参加者：約 80 人



Vol.16 ゆりの花をあなたに
歌と語りで綴るむなかた物語
海に恋してこのまちで
(平成 27 年 3 月 20 日)
出演者：奥村真衣（ピアノ）、片岡ようこ（朗読）、ラ・ビオレッ
テ（歌）
参加者：約 50 人



8. 利用状況

(1) 月別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
各月	13,670	12,644	9,530	11,107	13,176	12,027
累計	233,937	246,581	256,111	267,218	280,394	292,421

(人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
各月	13,043	15,631	10,783	17,376	11,939	16,702	157,628
累計	305,464	321,095	331,878	349,254	361,193	377,895	377,895

(2) 学校団体入館者数

ア．市内小学校

(人)

学 年	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		5 年生		6 年生		学校計
学 校 名	月日	人数	月日	人数	月日	人数	月日	人数	月日	人数	月日	人数	
吉武小学校											5/09	18	18
赤間小学校											4/16・17	156	156
河東小学校											6/3	90	90
南郷小学校							1/20	26			4/23	33	59
東郷小学校							9/18	87			4/30	74	161
日の里東小学校											6/4	51	51
日の里西小学校											5/29	48	48
自由ヶ丘小学校											5/2	94	94
赤間西小学校					10/21	74							74
自由ヶ丘南小学校											5/1	69	69
河東西小学校							11/28	86			6/18	96	182
玄海小学校			9/30	23									23
玄海東小学校													0
地島小学校									5/15	4	5/15	3	7
大島小学校									5/22	8	5/22	5	13
学年計	0		23		74		199		12		737		1,045

イ．市内中学校

玄海中学校 1 年生 42 名

ウ．その他学校関連来館

学 校 名	月日	人数	目 的
島原市立第五小学校	5/21	50	修学旅行
福岡教育大学 1 年生	5/24	37	郷土史学習
福岡教育大学 1 年生	5/28	16	郷土史学習
九州内考古学専攻大学生	7/27	50	宗像史跡見学
古賀市立古賀東小学校	9/25	67	展示見学 + まが玉づくり
合計		220	

9. その他施設との連携

市内にある各種施設の事業への参加

(1) 県立宗像高校文化祭 咲～ A shower of smiles ～ (平成 26 年 5 月 31 日)

同校四塚会館内展示室のガイドツアーや火おこし・まが玉づくり体験を行った。

(2) 南郷コミュニティセンター (平成 26 年 11 月 11 日 参加者：38 人)

まが玉づくりを行った。

(3) 福岡県立少年自然の家「玄海の家」玄海わくわくフェスタ

まが玉づくりを行った。 (平成 26 年 11 月 23 日 参加者：108 人)

10. 参考資料

(1) 宗像市郷土文化学習交流館条例

平成23年12月28日
条例第23号

(設置)

第1条 地域の文化的資源である歴史、民俗、自然等に関する資料（以下「資料」という。）を収集し、保管し、調査研究の成果を集積し、及び展示してその教育的活用を図り、もって市民の教育、学術及び文化の振興に寄与するため、宗像市郷土文化学習交流館（以下「交流館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 交流館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
宗像市郷土文化学習交流館	宗像市深田

(事業)

第3条 交流館は、次に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 交流館の事業の企画及び実施に関すること。
- (2) 資料の貸出し等に関すること。
- (3) 学校、地域等が実施する教育的活動との連携に関すること。
- (4) 世界遺産登録推進活動に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、交流館の設置の目的達成に必要な事業に関すること。

(職員)

第4条 交流館に館長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第5条 宗像市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、次の各号のいずれかに該当するときは、交流館の入館を拒み、又は交流館からの退去を命ずることができる。

- (1) 管理運営上の指示又は指導に従わないとき。
- (2) その他管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第6条 交流館に入館した者が、その責めに帰すべき事由により、施設、附属設備、展示品若しくは資料を破損し、滅失し、又は汚損したときは、これを現状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(協議会)

第7条 交流館の運営に関し必要な事項を審議するため、宗像市郷土文化学習交流館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、8人以内の委員をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験者
- (4) 市民代表

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成24年4月28日から施行する。

(2) 宗像市郷土文化学習交流館条例施行規則

平成24年1月12日

教育委員会規則第2号

改正 平成25年1月22日教委規則第1号

改正 平成27年3月18日教委規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、宗像市郷土文化学習交流館条例（平成23年宗像市条例第23号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 宗像市郷土文化学習交流館（以下「交流館」という。）の開館時間は、午前9時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、宗像市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に開館することができる。

(休館日)

第3条 交流館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日にあたる場合は、その翌日

(2) 12月29日から翌年1月3日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(遵守事項)

第4条 交流館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 館内で喫煙をし、又は火気を使用しないこと。

(2) 定められた場所以外での飲食をしないこと。

(3) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 前各号に定めるもののほか、交流館の管理及び運営に必要な指示に反する行為をしないこと。

(資料の貸出し)

第5条 教育、学術又は文化に関する団体等であって、資料の貸出しを受けようとするものは、宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

3 資料の貸出しを受けた者は、教育委員会の指示に従い当該資料を管理するとともに、それを転貸してはならない。

(資料の撮影等)

第6条 資料の撮影、拓本、模写、模造、複製、実測図作製等をしようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

(寄贈又は寄託)

第7条 交流館は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 交流館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書（様式第3号）により教育委員会に申し込まなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申込みがあったときは、その可否を決定し、申込者に通知するものとする。

4 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に通知するものとする。

(寄贈等資料の取扱い)

第8条 寄贈又は寄託を受けた資料の取扱いは、特別の定めがあるものを除き、交流館が管理する一般の資

料と同じ取扱いとする。

- 2 寄託を受けた資料が、天災地変その他不可抗力により破損し、滅失し、又は汚損した場合は、教育委員会はその賠償の責めを負わない。
- 3 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、寄託を受けた資料を返還することができる。
 - (1) 寄託期間が満了したとき。
 - (2) 寄託者から返還の請求があったとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認めたとき。

(協議会)

第9条 条例第7条に規定する宗像市郷土文化学習交流館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置くこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。
- 5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。
- 6 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 7 協議会の庶務は、市民協働環境部郷土文化課において処理する。
- 8 前各号に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(平25教委規則1・一部改正、平成27教委規則6・一部改正)

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成24年4月28日から施行する。

附 則 (平成25年1月22日教委規則第1号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月18日教委規則第6号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

様式第1号（第5条関係）

宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書

宗像市教育委員会 あて

	住所	
申請者	氏名	印
	電話番号	

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、貸出しを受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 貸出しを受けようとする目的

3 貸出しを受けようとする期間

年	月	日（	曜日）	から
年	月	日（	曜日）	まで

4 損害賠償等について

（1）資料は、借用期間中は教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。

（2）資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書

宗像市教育委員会 あて

	住所	
申請者	氏名	印
	電話番号	

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、撮影等を行いたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 撮影等の目的

3 撮影等の期間

年	月	日（	曜日）から
年	月	日（	曜日）まで

4 損害賠償等について

- （1）資料の撮影等を行うときは、教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。
- （2）資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書

宗像市教育委員会 あて

	住所	
申請者	氏名	印
	電話番号	

宗像市郷土文化学習交流館における調査研究及び展示の用に供する資料として（寄贈・寄託）したいので、
下記のとおり申し込みます。

記

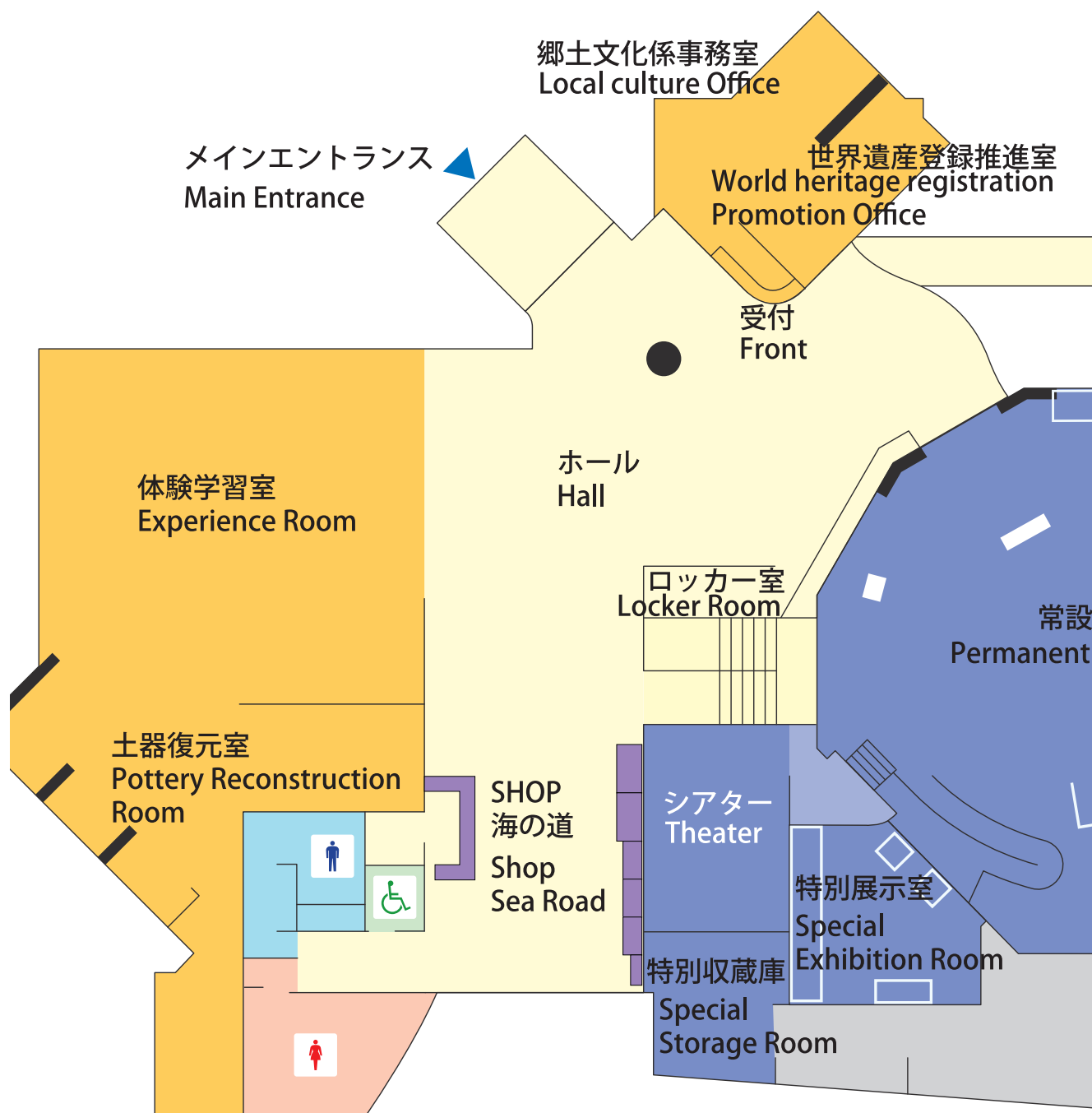
1 資料の名称及び員数

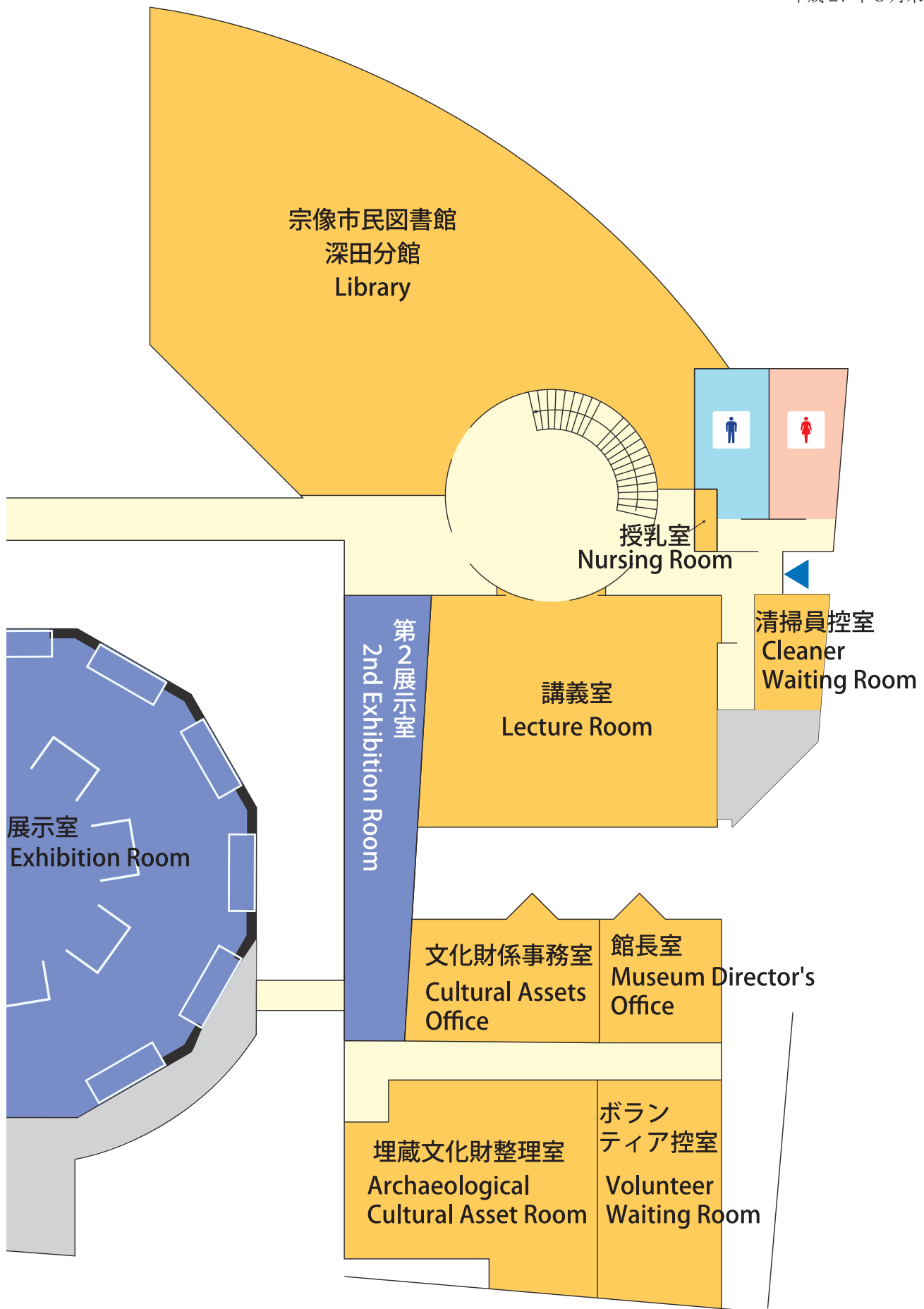
2 寄贈・寄託の別

寄贈 ・ 寄託

3 特記事項（条件）等

(3) 館内案内図





(4) 年間スケジュール

◆ 平成26年度「海の道むなかた館」イベントスケジュール一覧表

			平成26年																			
			4月				5月				6月				7月				8月			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
海の道むなかた館	施設展示	特別展示				春の特別展示「田中幸夫と古代の宗像」																
		企画展示									福永晴帆日本画展											
		第2展示室																				
		パネル展示																				
		館長講座 レギュラー イベント ミュージアムコンサート																				
		大・中規模イベント																				
		小規模イベント																				
		その他講演会、関連イベントなど																				
その他連携	学校向け	市内小学校 ※年間を通じて受入実施																				
		市外社会科見学 ※年間を通じて受入実施																				
	他施設連携	共同PR、 共同集客企画																				
世界遺産	世界遺産関係	世界遺産登録推進活動																				
地域の行事	地域の行事	宗像大社 鎮国寺																				

平成27年																																			
9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月											
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4								
				秋の特別展「ムナカタ国はあったか ～魏志倭人伝の国々と宗像～」												正月企画展「ムナカタの化石 ～4,800万年前のタイムカプセル～」												H27年度春の特別展 「日本人にかえれ 出光佐三展」							
																												むなカタ模型 作品展示会							
滝純一絵画作品展示会																																			
														北斗の水くみ写真展																					
														福岡県小学児童画展 宗像地区入選作品展示								宗像市・レゾジョエミリア市 (イタリア)交流児童画展													

海の道むなかた館年報Ⅲ 平成 26 年度の報告
～郷土文化学習交流館年報～

発 行：2015 年 9 月 1 日

発行者：海の道むなかた館

（郷土文化学習交流館 宗像市教育委員会）

（TEL）0940-62-2600 （FAX）0940-62-2601

印 刷：

「神宿る島」 宗像・沖ノ島と 関連遺産群

日本列島と朝鮮半島を結ぶ海域に
荘厳な姿を現す沖ノ島。

人々は古来、その島を敬い、畏れ、
祈りを捧げてきた。

五百年もの間営まれた祭祀の跡は、
その後、千年以上経ったいまも
当時の姿を残している。

国宝に指定された神への奉獻品は
八万点に及ぶ。

厳格な禁忌が今も受け継がれ、
立ち入りは許されない。

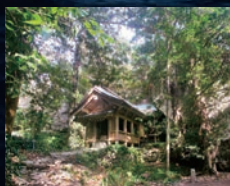
信仰の場は沖ノ島から大島、本土の三か所に広がり、
海の安全をつかさどる宗像三女神が鎮座する。

沖ノ島を含む二つの信仰の場からなる宗像大社と

沖ノ島祭祀を行った人々が眠る新原・奴山古墳群は、

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群として

世界遺産登録を目指している。



沖ノ島(宗像大社沖津宮)



沖津宮遙拝所



宗像大社中津宮



宗像大社辺津宮



新原・奴山古墳群

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を世界遺産に
「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議
www.okinoshima-heritage.jp